

CO₂排出量半減

低炭素合材を製造・販売

前田道路

前田道路は2022年1月

から、広島合材工場でアスファルト混合物製造時に排出されるCO₂を50%削減した低炭素合材の製造・販売を開始する。同社は、CO₂排出削減目標を30年度に13年度比50%削減、50年度にはカーボンニュートラルを目指しており、今回の低炭素合材の製造・販売は、30年度の目標に向けて先行した取り組みとなる。

低炭素合材は、アスファルト混合物製造における骨材などの加熱乾燥用の燃料を、重油からCO₂排出原単位の小さい都市ガスとバイオマス由来のカーボンニュートラルな

バイオ重油に変更した。

プラントの稼働電力も、すべて再生可能エネルギー率100%に変更することで、製造に伴うCO₂排出量を50%削減でき、低炭素合材として販売する。

施工業者は、同工場のアスファルト混合物を使用することで、スコープ3を大幅に低減できる。

また、同工場には、アスファルトに少量の水を添加することで、通常のアスファルト混合物製造温度を最大30度低減できるフォームドアスファルト装置(LEAB)があり、同技術の使用でCO₂排出量のさらなる削減が可能となる。

る。

同社は、舗装業界のFirst Moverとして、HG(温室効果ガス)排出量を削減を推進し、「カーボンニュートラルアスファルト混合物

の製造を目標に、「環境にやさしい道づくり」を実現する。

